

天にも昇る喜び。生命よ永遠なれ!

双子座に想いを馳せ、大協奏曲と大交響曲に祈りを込める
ラモー：「カストールとポリュックス」組曲
モーツアルト：ピアノ協奏曲第15番 変ロ長調 K. 450
シューベルト：交響曲第8番 ハ長調 D 944 「グレイト」

色彩豊かな音楽づくりで聴衆を魅了する名匠
常任指揮者 シルヴァン・カンフルラン



読売日本交響楽団 第192回 土曜マチネーシリーズ
2016 10/8(土)14時
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 **SOLD OUT**
東京芸術劇場コンサートホール

読売日本交響楽団 第192回 日曜マチネーシリーズ
2016 10/9(日)14時
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 **SOLD OUT**
東京芸術劇場コンサートホール

読売日本交響楽団 第91回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
2016 10/10(月・祝)14時
S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 **SOLD OUT**
横浜みなとみらいホール

読響チケットセンター 0570-00-4390
(10時-18時・年中無休)
<http://yomikyo.or.jp/>
コンサートマスター 長原幸太



欧州で注目を浴びるドイツの鬼才
ピアノ マルティン・シュタットフェルト

©Adrian Bedoy

透明感あふれる色鮮やかなサウンド！

カンブルラン×読響が生む極上の美

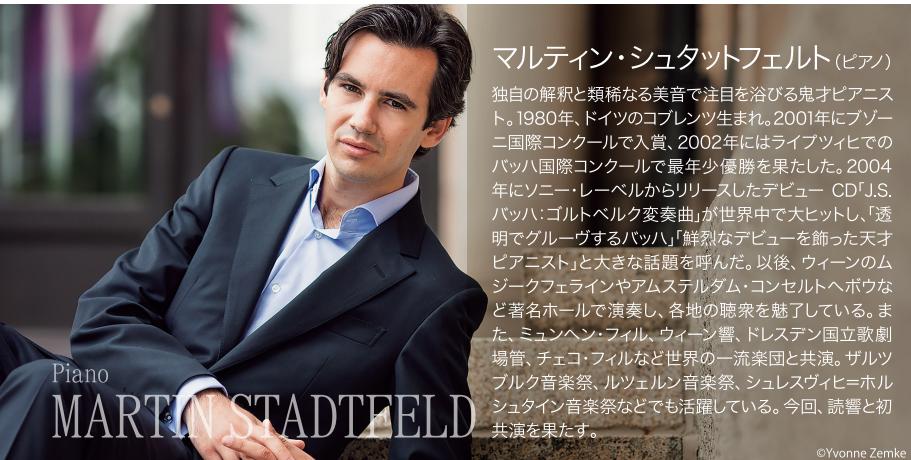
鈴木淳史(音楽評論家)

オーケストラの色鮮やかなサウンドを堪能したいという人がいれば、わたしは迷うことなく、シルヴァン・カンブルランの指揮による読響のコンサートを薦めることにしている。繊細さから陶酔を導くこのフランス人が常任指揮者に就任し、すでに6年。今回、この熟成した関係が生み出す響きにたっぷりと浸れるプログラムが披露される。

幕開けは、ラモーの「カストールとポリュックス」組曲。「双子座」伝説として知られるギリシア神話に基づくオペラから、4曲を組曲としてまとめた作品だ。カンブルランが演奏すると、それはフランス特有の優雅さが加わったハイドンの交響曲のようにも聴こえる。細やかな感性に裏打ちされたしっかりとした設計のなかで、屈託のない、美しい調べがホールに広がるはずだ。

モーツアルトのピアノ協奏曲第15番では、ソリストとしてマルティン・シュタットフェルトが登場。自由奔放な「ゴルトベルク変奏曲」で鮮烈デビューを飾ったピアニストだ。キャリアを順調に重ね、より深いロマンティズムをも香り立たせてくれるようになった。モーツアルトがピアノ協奏曲で新しい領域に踏み込んだ記念すべき作品が、まばゆい光のなかで奏でられるに違いない。

そして、メインとなるシーベルトの交響曲第8番「グレイト」は、カンブルランと読響の卓抜な音楽性を引き出すのに、もっとも適した曲だ。持ち前の明るく、空間性を感じさせてくれる演奏が期待できる。透明感のあるバランスは、作品の巨大な全体像を爽やかに映し出してくれよう。さらに、ドイツ・オーストリア流のどつり厳めしく構えた演奏とは違い、シーベルトの歌心が滑らかな流れとなつてあふれ出すことだろう。



マルティン・シュタットフェルト(ピアノ)
独自の解釈と類稀なる美音で注目を浴びる鬼才ピアニスト。1980年、ドイツのコブレンツ生まれ。2001年にブゾニ国際コンクールで入賞。2002年にはライプツィヒでのバッハ国際コンクールで最年少優勝を果たした。2004年にソニー・レーベルからリリースしたデビューCD「J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲」が世界中で大ヒットし、「透明でグリーグするバッハ」「鮮烈なデビューを飾った天才ピアニスト」と大きな話題を呼んだ。以後、ワインのムジークフェラインやアムステルダム・コンセルトヘボウなど著名ホールで演奏し、各地の聴衆を魅了している。また、ミュンヘン・フィル、ワイン響、ドレステン国立歌劇場管、チコ・フィルなど世界の一流楽団と共に演。ガルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭などでも活躍している。今回、読響と初共演を果たす。

©Yvonne Zemke

Piano

MARTIN STADTELD

読売日本交響楽団 第192回 土曜マチネーシリーズ

2016年10月8日(土)14時開演

S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C SOLD OUT

読売日本交響楽団 第91回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2016年10月10日(月・祝)14時開演

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C SOLD OUT

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります。だっこルーム 03-3981-7003(10/8、10/9公演) 横浜みなとみらいホールでは「託児サービス」を提供しています。(株)明日香 045-316-5539(10/10公演)

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

Conductor=SYLVAIN CAMBRELING

Piano=MARTIN STADTELD

Concertmaster=KOTA NAGAHARA

RAMEAU: Castor and Pollux Suite

MOZART: Piano Concerto No. 15 in B flat major, K. 450

SCHUBERT: Symphony No. 8 in C major, D 944 "The Great"

SATURDAY MATINÉE SERIES No. 192:

Saturday, 8th October 2016, 14:00

Tokyo Metropolitan Theatre

SUNDAY MATINÉE SERIES No. 192:

Sunday, 9th October 2016, 14:00

Tokyo Metropolitan Theatre

YOKOHAMA MINATO MIRAI HOLIDAY POPULAR SERIES No. 91:

Monday, 10th October 2016, 14:00

Yokohama Minato Mirai Hall



Conductor

SYLVAIN CAMBRELING

シルヴァン・カンブルラン(指揮)

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導く名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、既に高い評価を得ている。現在、世界有数のオペラハウスであるシュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クラングフォーラム・ワインの首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モナ歌劇場の音楽監督、フランクフルト歌劇場の音楽総監督、バーデンバーデン＆フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任。ベルリン・フィル、ワイン・フィル、ミュンヘン・フィルなどの世界の一流オーケストラに客演するほか、ザルツブルク音楽祭、メトロポリタン・オペラ、パリ・オペラ座などでも活躍している。録音にも積極的で、SWR響などと多数のCDをリリース。読響との『春の祭典／中国の不思議な役人』は「レコード芸術」誌の特選盤に選ばれるなど、絶賛を博した。2015年3月には、読響を12年ぶりの欧州公演へ導き、各地で成功させた。

©読響

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

• JR・西武池袋線・東武東上線・東京外口「池袋」駅西口より徒歩2分
(※駅地下通路2b出口と直結しています)

読売日本交響楽団 第192回 日曜マチネーシリーズ

2016年10月9日(日)14時開演

S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C SOLD OUT

横浜みなとみらいホール

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020

• 東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分

• JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(10/8、10/9公演)、横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(10/10公演)